

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第79号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成24年5月23日（水） 10時45分ごろ	
発生場所	千葉県浦安市舞浜南方沖 東京都江東区所在の東京東防波堤灯台から真方位118° 3.2海里付近 （概位 北緯35° 35.2′ 東経139° 53.2′）	
事故等調査の経過	平成24年5月24日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート <sup>ひだか</sup> 日高丸、5トン未満（長さ5.52m）	
船舶番号、船舶所有者等	232-20640千葉、有限会社行徳マリークラブ	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を乗せ、千葉縣市川市の係留場所を出発して釣りをを行い、千葉県木更津市木更津人工島（海ほたる）付近の釣り場に向けて舞浜南方沖を南進中、平成24年5月23日10時45分ごろ主機（船外機）が停止した。</p> <p>船長は、船外機の点検を行ったものの、船外機が停止した原因が分からなかったため、海上保安庁に救助を要請した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇に東京海上保安部巡視艇基地までえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>本船は、主機として船尾に船外機が1個取り付けられていた。</p> <p>船外機の燃料は、ガソリンを使用しており、船体後方の甲板下の燃料タンクから電動の燃料ポンプで船外機に供給されるようになっていた。</p> <p>本船は、燃料ポンプモーター用としてキャビン後方にヒューズが取り付けられていた。</p> <p>本船は、本インシデント後、ヒューズを点検したところ、燃料ポンプモーター用ヒューズが上部のヒューズホルダから外れて下がっているのが認められた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、舞浜南方沖を南進中、船外機燃料ポンプモーター用ヒューズがヒューズホルダから外れたことから、船外機が停止し、船外機の運転が継続できなくなり、運航が阻害されたものと考えられる。</p>

原因	本インシデントは、本船が、舞浜南方沖を南進中、船外機燃料ポンプモーター用ヒューズがヒューズホルダから外れたため、船外機が停止し、船外機の運転が継続できなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 船外機の始動前に燃料油系統及び電気系統の点検を行うこと。